日本技術士会
近畿支部

まんきしぶだより

No56号
2000-11-20

「胡蝶の舞」

立春の頃の或寒い夜、今を盛りと咲き匂う梅の花の下で旅の僧が仮寝していると、夢に胡蝶の精が現れ、「まだ梅の花と戯れた事がない、一度舞わせて欲しい」と懇願する。やがて許しを得た胡蝶は喜び、花を飛び交い、舞いつづけ、東天の白む頃いずこともなく消えてゆく。

薪の炎に照らされる能面と舞い、夜のしじまより流れ来る謡いと鼓の音。

能ならではの幽玄の世界に魅了されて、毎年観に行っている。

上の絵は近くの神社の能舞台で催された観世流「胡蝶」許可を得て撮った写真をもとに油彩で２０号におさめた。

技術士　高橋　哲威（化学部門）

目　　次

巻 頭 言	支部長　加 藤　　薫（農業）	3
技術士会全国大会報告		4～5
潜水艦の救難技術について	神田修治（船舶）	6～7
出版紹介「これからの新製品開発と社会倫理」	小林　廣（機械）	8～10
日本技術士会役員選挙	稲本　渡（化学）	11
上海における事業展開	江村　和朗（化学）	12～15
イスラエル見聞記　その（2）	稲本　渡（化学）	16～17
繊維技術物語	谷本義雄（繊維）	18
近畿支部会員名簿編集報告	稲本　渡（化学）	19～20
理事会報告、産官学技術移転フェア		21
中国求人紹介		22
部会報告		
ＩＳＯ部会，建設部会		23
近畿経営工学会，食品部会		24
化学部会		25～26
関西情報技術士会（PEAK/IT）		27
編集後記		28